

# シンポジウム: 関東大震災 100 年 大地震と都市空間

～過去に学び、近未来を描く～

2023 年 10 月 21 日(土) 13 時～17 時 法政大学 市ヶ谷キャンパス 富士見ゲート 4 階 G402

法政大学地理学会・法政大学江戸東京研究センター共催

「帝都大震災火災系統地図」1923 年 9 月 (法政大学江戸東京研究センター所蔵)

## 【プログラム】

- 13 時～14 時 **基調講演**「関東大震災と東京の復興・建築・景観・思想・コミュニティ」  
法政大学名誉教授 江戸東京研究センター特任教授 **陣内秀信**(建築史・都市史)
- 司会/趣旨説明 法政大学文学部教授 **小原文明**(都市地理学)
- 14 時 10 分 「地形、地質、歴史記録からみた関東地震の履歴と将来予測」  
国立研究開発法人産業技術総合研究所地質調査総合センター  
連携推進室国内連携グループ 研究グループ長 **穴倉正展**(地震学)
- 14 時 40 分 「関東大震災と丸の内・内幸町-東京経済と三菱における地所経営の変容」  
九州大学経済研究院准教授 **鷲崎俊太郎**(日本経済史・経済地理学)
- 15 時 10 分 「故郷喪失から新たな故郷へ-芥川龍之介、堀辰雄、立原道造の関東大震災経験」  
法政大学国際文化学部教授 江戸東京研究センター兼任研究員 **岡村民夫**(表象文化論)  
休憩(15 分)
- 15 時 55 分 穴倉報告コメント 法政大学文学部教授 **前杢英明**(地形学)  
鷲崎・岡村報告コメント 法政大学文学部教授 江戸東京研究センター長 **米家志乃布**(歴史地理学)
- 16 時 10 分 全体討論 17 時終了

参加無料/事前申込不要(直接会場にお越しください)/対面開催のみ(オンライン配信は行いません)